

2012 年 11 月 2 日 (金)  
人と防災未来センター

大震災復興過程の比較研究  
－関東、阪神・淡路、東日本の三大震災を中心に－

林 昌宏

(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 主任研究員

1. はじめに

関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災の 3 つの震災を、①震災をめぐる社会的認識、②政府の危機管理、③復旧・復興の政治過程について、政治学・行政学的な観点から比較・研究する

2. 三つの大震災の規模と被害

- ・ 関東大震災 (1923 年 9 月 1 日)  
－火災による被害が甚大…「赤い日」(by 馬場恒吾)
- ・ 阪神・淡路大震災 (1995 年 1 月 17 日)  
－家屋倒壊による犠牲者が多数
- ・ 東日本大震災 (2011 年 3 月 11 日)  
－地震+津波+原発の複合災害であり、日本史上でも稀にみる広域災害

3. 復旧・復興の特徴

- ・ 関東大震災  
－後藤新平 (帝都復興院総裁) の活躍と挫折
- ・ 阪神・淡路大震災  
－地方自治体を中心とした復旧・復興 (復興院を設立せず)
- ・ 東日本大震災  
－「政治主導」による復旧・復興と、それがもたらした混乱

#### 4. 震災に関する資料について

- ・ 三つの震災を比較する際に必ず活用
- ・ 紙資料、オーラル・ヒストリー、デジタルアーカイブまで

#### 5. 比較の軸の検討—どうやって比較するのか

- ・ 三つの大震災をどのように比較するのか？
- ・ 5つの比較の軸
  - ① 政権運営についての分析
  - ② リーダーシップの分析
  - ③ 政府間関係の分析
  - ④ 官僚の役割についての分析
  - ⑤ 行政と市民の関係についての分析

#### 6. 比較することで何が見えてくるのか

- ・ ケース 1：政治状況の違いは、復旧・復興にどういった影響をもたらしたのか  
— 政権が安定しているか、不安定であるかによって、復旧・復興にどのような違いが生まれるのか
- ・ ケース 2 港湾の復旧・復興について（中央集権から地方分権へ）  
— 横浜港と神戸港をケースに、中央と地方、地方と地方の政府間の関係を見る

#### 7. むすびにかえて

- ・ 万能ではない政治と行政  
⇒ 「何をしてくれるか」ではなく、「我々は何をすべきか」を検討すべき
- ・ 次なる大災害に向けて、どのようなことを検討すればよいのか